

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」(小学校)

視点1 行政との連携や働きかけ

- ・市保健所、市教委が丁寧に対応してくれた(明確なマニュアルの配布)
- ・市ICT支援員のサポートにより、オンライン授業がスムーズに進んだ
- ・学校サポーターの配置が非常に有効(感染症対策、働き方改革)(継続希望)
- ・自動音声応答装置(電話)が有効
- ・授業時数(市町村の設定時間数)の見直しが必要
- ・開かれた教育課程を目指して、関係機関への市教委のコーディネート
- ・出張等が削減またはオンラインによる実施に変更
- ・学習指導案提出のオンライン化
- ・学校配布文書を精選して欲しい(要望)
- ・出退勤管理のタイムカードは教頭の負担が大きい(要望)

視点2 自校での取り組み

- ・校務分掌の複数配置
- ・日課の変更(5時間授業等)
- ・清掃時間の縮小等による下校時刻の切り上げ
- ・最終在校時間の設定(教職員:帰りやすくなった)
- ・会議時間の短縮、削減(オンラインによる全職員共通理解)
- ・臨時休校期間中の時差出勤
- ・行事の簡素化(分散型の運動会や持久走大会)による教職員の負担軽減
- ・協働の教材研究や教科担当による学年配信(オンライン授業)
- ・欠席連絡やアンケートのオンライン化(担任の負担軽減)
- ・学年だより等をデジタルで配信
- ・末尾1時間の計画年休(月2回)
- ・学校支援サポーターの派遣が有効(生涯学習課)

視点3 次年度に取り組みたいテーマ

- ・金管、吹奏楽指導者の負担軽減
- ・専科教員の活用
- ・人材確保と働き方改革
- ・教員の指導力を保証しながらの働き方改革
- ・ボランティアを活用した働き方改革(教職員の負担軽減)
- ・ICTの有効活用(AIドリル、宿題、テスト、小中連携)
- ・学校行事のマニュアル化(誰でも担当できる化)
- ・アフターコロナの教育活動の在り方(元に戻すもの、戻さないもの)